

紋養だより

第3号（通巻 175 号）発行日：平成 29 年 10 月 20 日

発行責任者：北海道紋別養護学校長

久保 了乙

紋別市大山町 3 丁目 14

「前期を振り返って」

校長 久保 了乙



校長室から見える大山（校歌の歌詞にも出てきます）の紅葉が鮮やかになってきました。今年は紋別に台風の直撃が少なく比較的穏やかだと思ったら、北朝鮮のミサイルによる警報が何度かありました。幸い児童生徒や学校に被害はありませんでしたが、警報が出たら外出を控える、窓と反対側に移動し、机の下に身を隠すなど警報の際の対応について急遽検討をしました。先日、北海道教育委員会から対応についての文書が届き、学校としてこれまで対応してきたことと照らし合わせてマニュアルを作成しました。

これからの季節は雪の心配やインフルエンザ等の流行も予想されます。危機管理の意識を絶やさず保護者や地域の皆さんと協力しながら、児童生徒が安心して学習活動に専念できるよう努めてまいります。自分の身は自分で守るという意識も大切です。家庭でも、お子さんの状況に応じて話題にして、できることから取り組んでいただきますようお願いいたします。

話題は変わりますが、今年度は、中学部 4 人、高等部 5 人が卒業します。中学部 3 年生は、職場体験を終え、進学を希望する学校の教育相談を受けています。高等部 3 年生は現場実習を終え、進路先の採用や入所の決定の連絡を心待ちにしています。日本の雇用状況は上向きになっているものの、オホーツク管内の進路先は充実しているとは言えません。高等部の 3 年間はあっという間に過ぎていきます。進路懇談や進路便り、PTA による職場や施設の見学会など様々な機会を設けていますので、早いうちに情報を収集して見学や体験などを行い、本人も保護者も納得して進路決定ができるよう取り組んでいきましょう。



避難訓練・防災教室



9 月 14 日に、紋別消防署の方を招いて、避難訓練と防災教室を行いました。前半の避難訓練では、「おはしも」の約束を守りながら避難し、消防の方からも「落ち着いて素早く避難できている」との評をいただきました。

後半はスモーク体験、地震体験、消防車見学を行いました。実際に揺れる場所で身を守ったり、消防車の役割を聞いたりして、防災の意識が高まりました。

（文責：樋口）





札幌交響楽団



9月27日（水）、札幌交響楽団による音楽鑑賞会が行われました。子どもたちはオーケストラが奏でるディズニーの曲や学校の校歌など、聞き慣れている曲に真剣に聞き入っていました。また、「おもちゃの交響曲」をオーケストラの方々と様々な楽器を使って共に演奏しました。指揮者体験コーナーでは、実際にオーケストラを前に指揮棒を振り、最後にはサイン入りの指揮棒をプレゼントされ、貴重な経験ができました。

（文責：池田）



給食試食会



9月8日と10月5日、6日の3日間にわたって、本校で給食試食会を行いました。参加された保護者の皆様、御多忙の中、御参加ありがとうございました。参加された方だけでなく、全校の保護者の皆様に給食に関するアンケートを実施していますので、集計でき次第お伝えします。



編集後記

だんだんと秋が深まり、朝夕が冷え込む季節となりました。子どもたちは、そんな寒さを吹き飛ばすかのように日々、学習や遊びに元気に取り組んでいます。

さて、11月には学校祭があります。子ども達が日々の学習の成果を存分に発揮し、一人ひとりが輝く学校祭にしたいと考えています。是非足を運んでいただき、あたたかい応援をよろしくお願いします。

（情報教育部 樋口、池田）